

## 予備校での新型インフルエンザ対策 – 四谷学院様

### 四谷学院様のご紹介

四谷学院様は、全国に大学受験予備校を20校、小学生から高卒生を対象とする個別教室を25教室展開。科目能力別授業と55段階個別指導のダブル教育で、「行ける大学ではなく行きたい大学」への合格を実現しています。特待生制度がない予備校ならではの、大逆転合格『なんで、私が東大に!?!』がキャッチフレーズです。

### サーモグラフィ運用の状況

同予備校では、新型インフルエンザ対策として入館時の社員の体温測定と生徒さんの手洗い・うがいの励行を行っていましたが、更なるリスク管理の強化として瞬間に非接触で体表温度の測定が可能なサーモグラフィが導入されました。

サーモグラフィは四谷学院様の全ての校舎に配置されています。取材を行った四谷校では、カウンターで手続きをする生徒さんの顔の温度を測定するようにサーモグラフィが設置されています。

受験シーズンの追い込みの中、新型インフルエンザで休校することが無いよう、受験生のために細心の注意が払われています。



### プロフィール

商号 四谷学院  
設立 1974年(昭和49年)8月  
住所 東京都新宿区四谷1-10  
電話 03-3357-8401  
従業員数 800名(非常勤講師含まず)  
HP <http://www.yotsuyagakuin.com/>



カウンターにて自習室を借りる生徒の温度測定を行っています。



左: 中村氏 右: 白木氏  
サーモグラフィによる新型インフルエンザ対策の運用を担当されています。

現在のところ、新型インフルエンザによる発熱者は発見されていませんが、サーモグラフィの導入によりパンデミック対策への取り組みは生徒さんは勿論、親御さんにも安心感を与えています。

また、サーモグラフィは、軽量コンパクトで持ち運びが可能なため、スクリーニング検査をどこでも行うことができます。同予備校では合宿時、サーモグラフィで生徒一人一人の顔の温度を検温し、発熱者がいないことを確認しました。

同予備校では新型インフルエンザが収束した後も、季節性インフルエンザ対策でサーモグラフィを使用していく予定とのことです。



本館のカウンター前に設置しているサーモグラフィ



サーモグラフィで体表温度を測定される生徒さん



登校時に手洗いを励行するポスター



講師の出勤・退勤はノートPCで行い、出勤時は横のアルコールで手の消毒を行います。

## 製品紹介

四谷学院様で使用されているサーモグラフィ「TH6300R」は、被験者に接触することなく体表温を測定できます。

警報設定値以上の温度を感知するとアラームメッセージ及びアラーム音で、異常温度を知らせます。

また、従来のサーモグラフィに比べ小型・軽量で持ち運んでの使用にも便利です。

簡易検査に向いており、コストパフォーマンスに優れています。



サーモグラフィ TH6300R